

B-54 織物のバイアス地に関する研究(第1報)
バイアス地の引っ張り強伸度試験につ
いて

文化女子大 小川 安朗
○成瀬 信子
高木 洋子

1. 被服材料としてのバイアス地に関する研究は重要な課題であるにもかかわらず、従来これについての研究はあまりないようである。そこでバイアス地の力学的、形態的特性、特異の挙動などを解明し、被服工作上的の資料とし、服装形成の合理化に資するため研究を進めている。今回は、引っ張り強伸度特性について検討を加えた結果について述べる。

2. 基礎実験として試料は平織綿布を用い、たて方向を中心によこ方向まで左右各90度を8等分し、それぞれ11.25°おきのバイアス地を切り取り、JISにおける織物の引っ張り強伸度試験に準じて実験を行なった。この際の布地の変形、切断個所、切断状態、切断荷重、伸度などを各方向ごとに測定し、バイアス角度とそれらとの関係を検討した。

3. ① バイアス地の引っ張り強伸度試験は、従来、たて、よこ方向の場合に対して慣用されている試験方法では、つかみの部分における歪のためにチャック切れを生じ不適当なことを認めた。その対策としてチャック切れを防ぐことができるような1~2の方法を考案し、実験によってその有用性を立証した。② 平織の場合でもバイアス地の引っ張り強伸度、変形は左右対象ではないことを認め、その理由に対する検討を行なった。